

## 2019年度 でこぼこの会 学習会 報告書

本年度の研修会を令和元年（2019年）11月15日（金）に福岡市立下山門公民館で実施しました。不登校体験者の話を直接聞きながら学習を深めました。3名の講師をお招きして実施しました。1名は大検から大学・大学院と進まれ現在臨床心理士として病院などに勤務されています。もう一人は現在工業系の大学の3年生。もう一人は高校2年生。それぞれの立場で自分の夢を求めて頑張っている姿が素晴らしいと思います。府不登校の経験がそれぞれの力になっていることがすごいことだと感じました。



講座名	2019年度 でこぼこの会 学習会		
学習テーマ	思春期の子ども達の考え方を理解する		
講師の職業	社会人1名・大学生1名・高校生1名		
実施日	令和元年（2019年）11月15日（金）	出席者数	13名
実施時間	19時00分～21時00分		
会場	下山門公民館 学習室	記録者	坂本房江
学 習 内 容	○主催者挨拶○講師自己紹介		
	○講演・質疑・交流		
	・親ができることと、自分が頑張らなければならないことは違う。		
	・みんな正解を探すが、正解はない。努力をした結果それが正解になる。		
	・個人個人ですべきことは違う。親の正解と子の正解（したいこと）は違う。		
・質問攻めにしないように。答えないという答え方もある			
・学校に行けなかったときに、親にどんなふうにしてほしかったのか。			
○まとめ			
きつい言葉は一度言ってそっとしておいてほしい。			
自分で決めることが大切。アルバイトはとても大事。			
明らかに間違っているところははっきり言ってほしい。わかっている事を言われるとつらい。			
親の期待が（学校に行くなど）伝わってきて、つらかった。			
やる気スイッチはオンとオフではない。やる気があるないは周りが見て思っているだけ。こどもは常に何かに向けて頑張っている。			
学校に行っていない間は何もしていないわけではないので、見守ってほしい。			
○感想・お礼の言葉			

